

⑯ 日本国特許庁(JP)

⑰ 特許出願公開

⑱ 公開特許公報(A)

昭62-214568

⑲ Int.Cl.⁴
G 11 B 23/03

識別記号 庁内整理番号
Z-7177-5D

⑳ 公開 昭和62年(1987)9月21日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

㉑ 発明の名称 光ディスク保護ケース

㉒ 特 願 昭61-58628

㉓ 出 願 昭61(1986)3月17日

㉔ 発 明 者 小 林 泰 夫 東京都西多摩郡羽村町羽741-70

㉕ 出 願 人 小 林 泰 夫 東京都西多摩郡羽村町羽741-70

明 細 書

1. 発明の名称

光ディスク保護ケース

2. 特許請求の範囲

光ディスクの情報が記録されていない縁部 a を U 字型レール状 5 の凹型内部の弾力性のある突起部 6 で保持し、弾力性のある腕部 3 で光ディスクを側面から固定する合成樹脂で作成された光ディスク保護ケース

3. 発明の詳細な説明

本発明は光ディスクの情報が記録されていない縁部分および側面とで光ディスクを保持、固定する保護ケースに関するものである。

ここでいう保護ケースとは光ディスクを保持するために必要な部分のみを指し、それ以外の部分(外枠、フタなど)はケースと表示し、区別した。

光ディスクにはビデオディスク、デジタル・オーディオディスク、レーザーメモリなどがあり将来非常に有望な記憶媒体である。したがって、こ

れを安全かつ確実に保護し、しかも操作性の良い保護ケースが望まれていた。

従来の保護ケースには、おもに第2図、第3図に示された方式などが使用されているが、それぞれに欠点があった。以下に、それについて説明する。

まず第2図の方式についてであるが、光ディスク d の情報の記録されていない中心部 c を保護ケースの弾力性のある中心部 e で保持する構造である。この方式の欠点としては、(1) 弾力性のある中心部 e は、光ディスクの数回におよぶ取り外し、または取り付けによって弾力性が失われ、光ディスクが欠落するという、(2) 光ディスクを取り外す場合、片手だけでは外しづらいということ、などがあった。

つぎに第3図の方式についてであるが、光ディスクを取り付けている状態のときは、光ディスク d の情報の記録されていない縁部 a を保護ケースの g で、中心部 c を保護ケースの f でそれぞれ保持している。取り外す場合は、保護ケースの切れ

込みより折り曲げることによって光ディスクdを跳ね上げさせ、取り外すという構造である。この方式の欠点としては、(1) 光ディスクの取り外し、または取り付ける場合、保護ケースを折り曲げなければならないという構造上、ひとつのケースの中に複数の保護ケースを組み込むには不向きであるということ、(2) 光ディスクを取り外す場合、一度保護ケースを折り曲げてから、光ディスクを引き出すという二度の動作を必要とするため、操作がわずらわしいということ、などがあつた。

本発明は、以上のような従来の方式の欠点の解消と、使用者の強い要望にこたえるために発明されたものである。以下に、その構造について説明する。

合成樹脂製主体1に、U字型に形成されたレール状5の凹型内部に、光ディスクの側面をはさみ込む形で固定するための弾力性のある腕部3と、光ディスクの情報記録されていない縁部aを保持するための弾力性のある突起部6を有する。

向上した。(3) 光ディスクの取り外し、または取り付ける場合に保護ケースを变形させる操作がいらないので、ひとつのケースの中に複数の保護ケースを組み込むことができるようになった。

以上のように、従来の方式の欠点を解消することができた。これは、本発明によって初めて可能となったことであり、使用者の強い要望に十分にこたえうるものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、光ディスクの正面図

第2図、第3図は、従来の方式の断面図

第4図は、本発明の一実施例を示す平面図

第5図は、第4図の正面図

第6図は、第4図の側面図

第7図は、第4図のA-A断面図

第8図は、光ディスクを装着した状態の第4図のA-A断面図

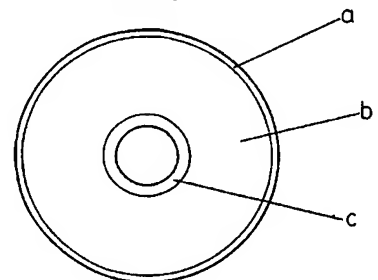
第9図は、第5図のB-B断面図

1.....主体、2.....段、3.....腕、4.....取り出し口側面、5.....レール、6.....突起

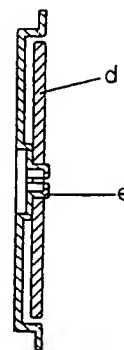
U字型レール状5の凹型内部の取り出し口側面4は、光ディスクの取り外し、または取り付けを容易にするためにテーパー状に作られている。U字型レール状5の凹型内部の幅は、光ディスクの取り外し、または取り付けを容易にするために光ディスクの厚みよりも多少広く作られているが、光ディスクを装着している状態では、弾力性のある腕部3、突起部6により完全に固定される。また、この時U字型レール状5の凹型内部の主体1に形成された段部分2によって、光ディスクの情報記録されている部分bと、主体1との接触を防止している。

本発明は以上のような構造であり、これにより、(1) 装着された光ディスクは外周を弾力性のある突起部6で保持され、弾力性のある腕部3で側面から固定されるため物理的に非常に安定性が良く、光ディスクの欠落ということも無くなった。(2) 光ディスクの取り外し、または取り付けは、引き出す、差し込む、といった無理のない1回の動作だけで済むようになり、操作性が格段に

図面
第1図



第2図



第3図

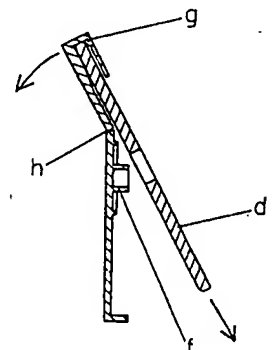
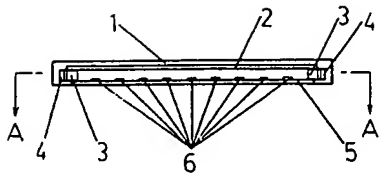
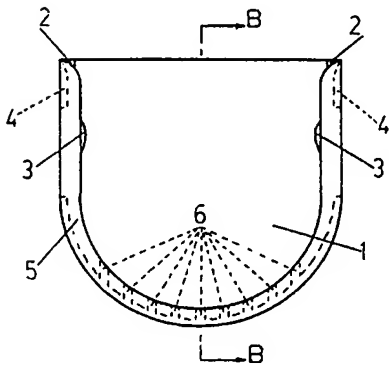


図 面

第4図



第5図



第6図

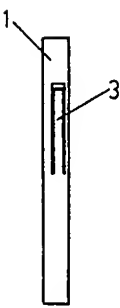
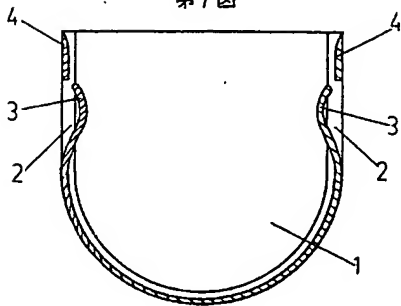
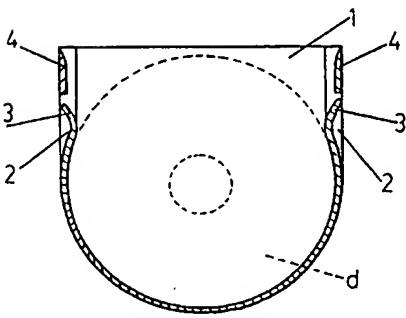


図 面

第7図



第8図



第9図

